



第18回認定セミナーと検定試験のご案内 医療機器の安全に役立つ MDIC

製造販売業者と医療スタッフのための 2025 年度 e ラーニング

(Medical Device Information Communicator : 医療機器情報コミュニケーター)

MDIC 認定セミナー

認定制度と認定セミナー

医療機器の安全使用と品質向上・進化を目指して、製造販売業者と医療機器の利用者との間で機器に関する正確な情報伝達を担う方を認定する制度です。医療機器の技術情報や適正使用に必要な知識とコミュニケーション力を有し、ヒヤリ・ハット、不具合情報等の医療機器に関する安全性情報の収集と提供を行うに十分な資質を有する方として学会が認定しています。MDIC の認定を受けるには認定セミナーの受講が必須です。



MDIC認定制度
詳細はこちら

受講対象者は「医療機器に関わる全ての方」とし、以下の通りです。

- ・製造販売業者等で医療機器の開発・製造・販売・保守・使用・評価のいずれかに関わっている方
- ・医療機関での医療機器利用者（医師、看護師、臨床工学技士など）、医療安全管理者、医療機器・資材・設備など調達管理関連事務スタッフ
- ・教育・研究機関の教職員・学生などで実務経験は問いません。

第18回認定セミナー概要

セミナー形式：e ラーニング
申込期間：7/1(火)～9/1(月)
受講期間：

9/12(金)～11/14(金)

受講科目 医療概論

1. 医学・医療の役割とあゆみ
2. 医療を取り巻く環境
3. 社会保障と医療
4. 医療保険制度と介護保険制度
5. 病院における診療体系と業務の機能分担
6. 医療倫理と EBM
7. 医療安全管理
8. 医療機器と医薬品～医療を支える技術～
9. 関係法令

臨床医学

1. 人体の基本構造
2. 疾患概論
3. 診断学
4. 治療学
5. 医療機器と感染管理・安全管理
6. 臓器と疾患

臨床工学

1. 医療機器の安全基準
2. 医療機器の保守点検
3. 生体計測機器の原理・取り扱い上の注意と保守点検
4. 治療機器の原理・取り扱い上の注意と保守点検
5. 病院設備

医療情報

1. コンピュータの基礎
2. 情報セキュリティの基礎
3. 医療情報の特殊性と医療情報システム
4. 診療録とその他の諸記録
5. 病院情報システム
6. 医療情報の標準化

MDIC 認定セミナー受講方法

MDIC 認定セミナーは「医療概論」、「臨床医学」、「臨床工学」、「医療情報」の4科目で構成されており、医療現場において医療機器に関する業務を行う際に是非知っておくべき内容が網羅されています。

受講方法

- 受講料を振込後、学会ホームページの専用フォームからお申込ください。受付後、申込者個人のメールアドレス宛に「配信ページ URL」と「ログイン ID・パスワード」をお知らせしますので、「配信ページ URL」から受講してください。
- ・1 単元 10～30 分と短時間なのでスキマ時間に受講できます。
 - ・受講期間内であれば何度でも受講可能です。
 - ・全ての単元を受講しなければなりませんが、順番は自由です。

受講料振込

受講料：26,400 円 (テキスト代込・税込)

以下のいずれかにお振込みください。

振込先口座

一般社団法人日本医療機器学会MDIC認定委員会

・ ゆうちょ銀行 00180-4-429165

・ みずほ銀行 本郷支店 普通 2722692

※受講料は理由にかかわらず返金しません。

※振込票(控)を画像ファイルとして保存し、受講申込フォームから送信してください。

受講申込

「学会 HP」⇒「認定制度」⇒「MDIC 認定」
⇒「第18回認定セミナーのご案内」

https://www.jsmi.gr.jp/license/mdic/dai18kai_ninteiseminar



※郵送および FAX では受付けていません。
※企業で一括申込をご希望の場合はメールでご連絡ください。✉ mdic_rev@jsmi.gr.jp

MDIC 検定試験

MDIC検定試験について

検定試験はオンライン試験または会場試験のいずれかを選択していただきます。検定試験の受験料振込、受験申込方法等の詳細はセミナー受講者に**別途案内を送付します**ので、送付された案内をご確認ください。

試験科目

医療概論、臨床医学、臨床工学、医療情報

出題範囲

認定セミナーのテキストと講義内容

eラーニングの再受講

2025年12月15日(月)から2026年1月10日(土)まで知識整理のための再受講が可能です。

解答方式

試験方法の改定がございます。詳細は7月下旬以降にホームページにて公開いたします。

合否判定

4科目全ての試験で合格点を取ること
で「合格」となります。
・合否結果は受験者本人に通知します。
★**受験要綱が守られていない場合は採点の対象とならず不合格となります。**

※注意事項

不合格の科目は、翌年より2年間に限りその科目のみの再受講が可能です。ただし、翌年は不合格科目の認定セミナー受講が必須です。翌々年は不合格科目のみ認定セミナーを無料で受講できます。

検定試験概要

開催方法

オンラインまたは会場試験
※試験会場は未定

受験資格

認定セミナーを受講期間内に
全て受講完了していること

検定試験日

2026年

1月11日(日)

MDIC 認定

MDIC 認定について

MDIC 認定証の交付

検定試験合格者には合格通知を送付します。指定する期日までに認定料の振込とMDIC認定の申請をしてください。申請に基づき、日本医療機器学会が認定証を交付します。



MDIC 認定の有効期間

認定期間は初回のみ認定日から5年6ヵ月間です。認定期間内に更新ポイントを60ポイント以上取得し更新することで5年間認定期間が延長されます。医療機器に関する最新の知識を習得するために、日本医療機器学会や後援団体が開催する学術大会・講習会などへの参加・発表を行うことで、更新ポイントが付与されます。



ポイント取得基準
はこちら

MDIC 後援団体

(2025年5月現在。敬称略、順不同)

一般社団法人大阪医療機器協会
日本医学会
一般社団法人日本病院会
一般社団法人電子情報技術産業協会
一般社団法人日本医療機器販売業協会
公益社団法人日本医師会
一般社団法人日本医療機器工業会
一般社団法人日本分析機器工業会
一般社団法人日本医療機器産業連合会
一般社団法人日本医療福祉建築協会
一般社団法人日本医療福祉設備協会

商工組合日本医療機器協会
一般社団法人日本不整脈心電学会
一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会
一般社団法人日本衛生材料工業連合会
公益社団法人日本臨床工学技士会
一般社団法人日本手術医学会
公益社団法人全日本病院協会
公益社団法人日本麻酔科学会
公益財団法人医療機器センター
公益社団法人日本看護協会

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
一般社団法人日本病院薬剤師会
公益社団法人日本整形外科科学会
公益社団法人空気調和・衛生工学会
一般社団法人日本補聴器工業会
公益社団法人日本診療放射線技師会
一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会
一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会
公益社団法人日本生体医工学会